

## 木の住まい論 10

日頃は、当センターのいえかて事業をご利用賜り厚く御礼申し上げます。  
7月となり梅雨明けは未だ遠く長雨が続きそうですが、この時期にはカビ等に気をつけ住宅のお手入れをして頂ければと思います。その際にもぜひ、登録住宅いえかてWEBに情報を保存ください。  
さて、今回は、4月にご送付しました「木の住まい論」9「宇宙船地球号」(1)の続きをお届けします。

### 木の住まい論10 コロナ禍が鮮明にした「宇宙船地球号」(2)

二つ目は、この人類存在の基本条件である「つながり」に加えて、モノもつながっており、世界の人流・物流が一体化していて、いわば「世界は一つ」となっている。世界の隅々までが、つながっている。どこへでも行けるし、行ったことのない地域のモノを食べたり、身に着けたりしている。そのつながりがなければ、経済も生活も成り立たなくなる。

国が閉ざされると、マスクすら手に入らなくなる。行きたいところに行けなくなる。国境を管理してもコロナウィルスを止められないのは、完全な遮断など不可能であるからだ。このグローバル化の功罪を、コロナウィルスは我々に見せてくれた。もちろん、人、モノだけでなく、それを覆っている水も空気も地球上で一つにつながっている。空気や水は、生存条件であるが、汚染物質も放射能も運んでくる。

三つ目は、「つながり」を分断するものとしての「世界の格差と差別」である。コロナは貧困地域・貧困層を直撃し、医療やワクチンの届かない状況が生まれる。仕事を失うのは非正規雇用である。

また、さまざまな人種差別・民族差別も次々と起こっている。感染症への恐怖が憎悪や差別意識を増幅させる。格差と差別は感染症よりももっと深刻な人類の課題であることが見えてきた。

四つ目は、現生人類がネアンデルタールなどの他の人類を圧倒し、狩猟採取から農業革命、産業革命、情報革命と文明を築いて来ることができたのは、言語による「つながり」であり、協働作業であった。高い技術力は、自然に対する無制限な活用・略奪を可能にし、人類の欲望を解き放した。自然を破壊し「自然との適正なつながり・共生」に失敗してきた。人間への感染症のウィルスを、野生動物を介して都市の高密度地にさらすことになったのも、過度の開発の結果である。

コロナ禍は、異常気象・温暖化と同根の問題なのである。この意味で、地球環境問題といつてよい。

かつて、ケネス・E・ボールディングは、「地球は、微妙な諸関係で結ばれた有限なシステムで、いわば『宇宙船地球号』である。閉じた生態系として慎重に操縦すべきである」と提起した。

コロナ禍は、人間の生活と経済が閉じた「地球という宇宙船」の中で営まれていること、そして、この宇宙船の操縦が、今やますます危ういものになっていることを、可視化したのである。(続く)

一般社団法人住宅長期支援センター  
理事長 東樋口 護  
(公立鳥取環境大学名誉教授)

なお現在、センターでは、「住宅メンテナンス診断による床下診断」のキャンペーンを実施中です。詳細は、下記のホームページ 又は 事務局までお問合せ頂き、是非、この機会をご活用ください。

★気になる「床下」を住宅メンテナンス診断士が診断！

「住宅メンテナンス診断<床下編>」2021年度夏季キャンペーン実施中！

(最終締切：2021年9月20日迄)

<https://yukashita.holsc.or.jp/>

<賛助会員様の情報提供>

<https://www.jfd-gr.co.jp/> 地盤調査・改良工事のエキスパーター(株)JFD エンジニアリング  
ホームインスペクション・耐震診断と併せて「グラウンドインスペクション」をご利用できます。

- ※ 維持保全計画、点検の実施についてのご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せください。
- ※ 「登録住宅いえかるて」については、ホームページをご覧ください。<http://www.holsc.or.jp/iekarute/>
- ※ 「登録住宅いえかるて」WEBの「住宅所有者ID」をお忘れの方や不明の方、ご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方は、[info@holsc.or.jp](mailto:info@holsc.or.jp) へメールをお願い致します。
- ※ センターのブログ、Facebook も是非ご覧下さい。
  - ブログ <http://www.holsc.or.jp/information/blog/>
  - Facebook <https://www.facebook.com/一般社団法人-住宅長期支援センター-265533456815676/>
- ※ お住まいのご質問や相談、空き家の管理や活用の電話相談を承っています。
- ※ 自治会や子供会等へ「住まいの出前講座」をお受けしています。イベント企画にご利用ください。
- ※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、[info@holsc.or.jp](mailto:info@holsc.or.jp) へご連絡をお願い致します。

一般社団法人 住宅長期支援センター

TEL : 06-6941-8336 FAX : 06-6941-8337 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4 MF 天満橋ビル5階